

令和3年度職員採用説明会 質疑応答

問 エントリーシートの職歴について、同じ会社でも複数の職場を経験している場合の記入はどのようにすればよいか。

答 会社ごとに記入してほしい。

問 3～5年で異動するということだが、異動する前の経験が役に立った場面はあるか。

答 市内の学校や公共施設など様々な場所や人間関係などが、職場が変わっても、つながりが生きること多い。

予算執行や契約事務など、基本的な業務を早いうちから経験できれば、次の職場でも必ず使える。

問 一つの部署にどれくらいの人数がかかわっているのか。

答 職場にもよるが、5～6人の部署もあれば、会計年度任用職員も含めて40人以上になる部署もある。

一つの業務にメインの担当が分担されるが、一人ではできないこともあるので、同じ部署で助け合ったり、違う部署とかかわりをもつことが多い。

問 現場と事務仕事の割合はどのくらいか。

答 部署や担当する業務によって違う。しかし、事務職、技術職にかかわらず、現場だけ、事務だけの職場はないので、どちらも対応する必要がある。

問 車を運転する機会が多いのか。免許取得は必須か。

答 現場に行くときは公用車を使用することが多い。免許を持っていれば、経験できる仕事、職場の選択肢が広がる。

注：運転免許の有無が採用の可否に影響するものではありません。

問 障害者と健常者で、できる内容が変わってしまう場合があると思うが、どのようにフォローしているのか。

答 障害の有無にかかわらず、経験や能力の違いはあるので、担当レベル、課レベル、職場全体でフォローし合って仕事に取り組んでいる。

問 テレワークの実施状況はどのくらいか。

答 窓口業務や現場仕事も多く、高い水準ではないが、できる範囲で実施している。やりたいのにやれないということはない。

感染症対策としては、時差出勤や特別休暇も取り入れられている。

問 災害時に職員はどのように行動するのか。

答 部署によっては、職場に参集して災害初期から行動する必要がある。初期対応の必要性が少ない部署の職員は、地区配備隊という市内の避難所に参集するように位置付けられており、それぞれの役割が事前に決められている。

問 SDGs との関係性はどうか。また、特に重視されている目標は何か。

答 新総合計画の中で、明確に分けられている。どの職場も何かしらの目標に関連しているので、市役所で何か一つに重視するということはないが、それぞれの仕事で取り組んでいく必要がある。

問 職場の雰囲気はどうか。

答 忙しい部署、大変な業務も多いが、職員同士は助け合い、刺激し合いながら取り組んでいる。

問 公務員になってみて、秦野市役所に入庁して、就職前とのギャップを感じたところはどのような所か。

答 公務員は残業や休日出勤はないというイメージがあるかもしれないが、部署や時期にもよるが、残業しなければいけない時やイベント、災害時など休日出勤もある。

部署も70課と様々な仕事があり、直接市民と接する窓口業務や事務作業だけでなく、事務職でも現場に行くことも多い。

問 市民との協働を掲げられているが、具体的にはどのように行われているのか。

答 市役所の職員だけで、市民の生活を全て支えることはできない。いろいろな団体と一緒に取り組んでいる業務も多い。

問 普段のタイムスケジュールはどのようになっているか。

答 基本的には朝 8 時 3 0 分から業務が始まるが、窓口業務や電話対応など、なかなか決まったり、予定通りに業務を進めることは難しい。その中で、期限までに終わらすことができるような対応力、臨機応変な力が求められる。

問 他団体等への派遣はどのぐらいの期間なのか。

答 基本的には 2 年が多いが、派遣先との調整で 1 年から、長い期間で 3 年という職員もいる。

問 市役所の業務を見学することは可能か。

答 業務見学は開催していないが、興味がある業務について問い合わせてもらえば、担当課から回答する。